

【高等学校用】

令和2年度学校評価 結果

様式1(高等学校)

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名	佐賀県立鳥栖工業高等学校 定時制
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> どの評価項目も概ね達成できたとする。 希望進路の実現では、進路指導と担任や保護者の協力で生徒の状況に応じた支援と指導ができ、その結果、成果が表れたと考えられる。 授業や行事の集合時間に遅れる生徒はほとんどいなくなった。また、今後も行事前の指導を継続して行うことは必要であるとする。 いじめ問題への教職員全体での共通理解を図ることはできた。また、次年度も研修を行い、いじめ防止に取り組む。
2 学校教育目標	働きながら学ぶという基盤に立ち、広い視野と豊かな創造力を持ち、自ら学ぶ意欲と自らを律する力を備え、心身共にたくましく、個性豊かで人間愛に満ち、社会に貢献できる人材を育成する。
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習意欲を向上させ、主体的・自主的な学習態度及び読み解く力を育成する。 ② 進路指導の充実を図り、希望進路の実現を目指す。 ③ 健康管理とスポーツの振興を図る。

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○基礎学力の向上を目指した活動の実施	○計算力アップトレーニング(以下ケアトレ)の積み重ねにより基礎学力の向上を実感した生徒80%以上を目指す。	・定期的にケアトレを行い、学習の積み重ねによる達成感をもたせる。 ・基礎学力の定着を実感させる。	B	・コロナ対策を実施しながら、ケアトレを年間で11回実施できた。生徒は基礎学力の向上を実感できている。概ねできているとアンケート回答した生徒の割合は74.4%であった。しかし、学年が上がると基礎学力の向上を実感できた生徒の割合が減少する傾向がみられた。	B	・基礎学力のバランスが未知数の学生に対し、きめ細やかな指導が難しいと思われる中、教職員の皆様の努力と熱意による指導に生徒たちは恵まれていると思います。 ・今後とも情熱をもって実施してください。 ・コロナ対策と学力向上対策の両立が大変な年でした。今後の向上を期待します。	教務
	○資格取得	○資格取得に積極的に取り組ませ、検定合格70%、国家資格取得50%以上を目指す。	・資格取得に主体的に取り組ませ、進路選択に、役立たせる。	A	・受験した、ボイラー一級士(1級、2級)、危険物取扱者乙種第4類、第2種電気工事士、パソコン利用技術検定(2級、3級)、漢字検定(2級、準2級)で合格率100%であった。資格取得を目指して生徒は、主体的に取り組んでおり、また、希望進路の選択に役立っている。	A	・資格取得は、生徒たちの自信につながります。いろいろな資格に取り組んでください。 ・資格取得で指導を受けた生徒たちの頑張りもあるかと思いますが、何より先生方の指導力の賜かと存じます。	工業科
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○人権・同和教育や情報モラル教育等を通して、基本的人権を尊重できる生徒100%を達成する。	・情報モラル教育に係る講話を行う。 ・人権・同和教育に係る講話を行う。 ・生徒個人面談を定期的に行う。	B	・6月下旬に、1・2年生については人権・同和教育のHR、3・4年生については進路保障のHRを実施し、生徒の人権意識の向上に努めた。 ・12月に情報モラルに関する講話を実施した。 ・年度当初と夏休み明けに生徒理解面談を実施した。また、生徒の状態に応じて随時個人面談を行った。 ・基本的人権を尊重できている。概ねできているとアンケート回答した生徒は86.7%であった。引き続き基本的人権を尊重できる生徒100%に取り組む。	B	・目標に向かって繰り返し教育されるべき一番大切なことだと思います。これからもしっかりと取り組んでください。 ・個々の倫理観と人権意識の向上を期待します。	生徒指導 人権・同和教育
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの早期発見と防止に向けて取り組み、いじめ発生件数0を目指す。	・いじめ対応についての職員研修を前期と後期に行う。 ・定期的に学校生活アンケートを実施して早期発見につとめる。	A	・4月と12月に職員研修を行い、5月、7月、2月にアンケートを実施した。 ・いじめ事案は発生件数0であった。しかし、引き続き生徒観察等が必要である。	A	・特にいろんな考え等がめぐる年代だと思えます。生徒に寄り添いながらこれからもよろしく願います。 ・件数0を引き続きお願いします。	生徒指導
	◎ふるさと佐賀への思いを醸成するための教育活動	○佐賀県の良さに理解を深めることができた生徒80%以上を目指す。	・「佐賀語り」を使用して、佐賀県の偉人、歴史、自然、今について学ぶ。 ・佐賀県について、興味を持ったことを学習用PC等を活用し、調べ学習を行い、理解を深める。	A	・佐賀県のことを学ぶ時間等を通して、佐賀県の偉人、歴史、自然、今について学習を行った。佐賀県の良さに理解を深めることができている。概ねできているとアンケート回答した生徒は80%であった。	A	・ふる里意識はとても大切なことだと思います。	教務
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●健康に食は大切であるとする生徒100%を達成する。	・「保健だより」発行 ・講演会や生徒個人面談等を通して、健康に関する意識を高める。 ・給食指導(手洗い及び給食マナー)の徹底を図る。	B	・毎日、生徒の登校時に、給食室で、生徒全員に対して健康観察のための声かけと体温測定を実施している。その際に給食をきちんと食べるように呼びかけている。その成果もあって、今まで給食を食べない生徒も給食を食べるようになってきた。アンケートの結果、健康に食は大切であるとする生徒は87.2%であった。今後も生徒1人ひとりへの声かけや「保健だより」等を通して健康に対する意識を高めていきたい。	A	・給食の内容も大切、栄養バランス、おいしさ、食にまつわる歴史等、給食室から発信できるかもしれません。 ・食と健康に対する意識向上100%のため、生徒への呼びかけをお願いします。 ・本来家庭が担うべき事柄に対して、教職員の皆様が心を通わせ努力していただきありがとうございました。	保健
	○運動習慣の改善や定着化	○基礎体力と持久力の向上のために、授業において体づくり運動等を90%以上実施する。	・体育の冒頭において、時間を設定してランニング、縄跳び、ダブルタッチ等を実施する。 ・部活動を通して、生涯スポーツの基礎を身につける。	B	・授業において体づくり運動を毎回入れることで運動量を確保できた。そのことにより基礎体力や持久力の向上、運動の習慣が身につけている。概ね身につけていると82.1%の生徒が学校評価アンケートに回答した。	B	・健康の維持と体力の向上に励んでほしい。	体育
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間等の上限を遵守する。	・学校閉庁日の設定 ・勤務時間を意識した業務の効率化を図るように声かけを行う。	A	・時間外勤務時間の月平均は1人当たり3.3時間であり、昨年度の月平均4.7時間より減少した。学校閉庁日は、8月に設定し閉庁を行った。勤務時間を意識した業務遂行の効率化は職員に浸透してきている。引き続き声掛けを行う。	A	・先生方が健康でやる気をもってやれて行けるようリフレッシュ時間の確保はとても大切です。	教頭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○希望進路の実現	○4年次の進路指導を学科、学年、教科と連携し、見える化した形で従来よりも早期に着手する。 ○生徒の実情に即した「進路のしおり」を作成し、学科、学年、教科と連携した計画的な指導を実施する。	○4年生の自己理解とキャリアイメージを確認し、第1希望の実現80%以上を目指す。 ○「進路のしおり」を新規作成・導入し、1年次からキャリア教育を実施し、進路意識が向上した生徒80%以上を目指す。	・担任面談、進路指導部面談等を密に実施し、キャリアイメージの深まりや希望進路の実現のための取り組みについて確認・助言する。 ・各学年毎の取り組みを明確化した進路指導計画を作成、実施し、年度途中及び年度末に確認、評価、修正等を行う。	B	・担任と連携を取り4年生へ資料と教材を配付し、個に応じた進路指導を行った。第1希望への内定と合格率は73.3%であったが、4年生全員が希望職種・分野への就職・進学をすることができた。 ・1年生から3年生のキャリア教育は、生徒が進路意識が向上した。概ね向上したとアンケート回答した生徒は75%で目標まで達しなかった。次年度も「進路のしおり」を活用して計画的にキャリア教育を行い、進路意識の向上を行う。	B	・高校時代の先生の生徒へのかわりは、とても後の人生に何かを残してくれるものです。とにかく、かわりを強く持ってください。 ・進路に対し不安を感じる生徒、無自覚な生徒等、生徒の心の部分まで踏み込まなければ進路は決定できないと思います。それぞれの個性に合わせた指導をお願いします。	進路

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> どの評価項目も概ねまたは、十分達成できたとする。 基礎学力の向上は、成果が出ており今後も重点的に取り組む目標である。今後も生徒の実態に応じた工夫を行いながら全職員で計算力アップトレーニングを行い、基礎学力の向上を目指す。 進路指導では、進路のしおりの内容を更新し、活用することで希望進路の実現を目指す。生徒が社会との関わりの中で、進路意識の向上と希望進路の実現に向け生徒の主体性を導き出すようなキャリア教育を推進する。 教職員の生徒への声掛けと温かい給食の提供により生徒の喫食率は向上している。健康に食は大切であるとする生徒自ら食の自己管理ができるようにする。
--------------------	---